

## トマト畑 から



## 第3号

## 明けましておめでとうございます

昨年は私を議会に送っていただき、本当にお世話になりました。おかげさまで6月議会、9月議会、12月議会と毎回、一般質問をすることができました。今年もみなさんの声をできるだけ、たくさん議会に届けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



## ～お近くの道路、河川は大丈夫ですか～

大野よし子後援会は、昨年11月に西明神・東明神の一部・畑野川の一部の道路、水路、河川の補修必要箇所を見て回りました。道路の破損が多く、また川底に土砂がたまり浅くなっている河川が多いと実感。地図と写真を添えて会員と共に役場建設課に要望書を出しました。



(川床が浅くなり大雨が降ると水が溢れる恐れがある)

## (こんな声が)

(Aさん) 水路が壊れて中山間直接支払制度で要望していたが、何年もそのまま。今回はすぐに見積もりに来てくれた。共産党はすごい。チームワークもすごい。助かった。

(Bさん) 夫婦で山の手入れをしている。「トマト畑から(第2号)」で間伐補助金の制度を知った。早速、林業戦略課に連絡をとった。

(Cさん) 町長選挙の時、家に来てくれて町長さんの声を聞いたが、それ以降は聞けていない。コロナへの注意が放送で流れるが、たまには町長さんの声で注意の放送を流してほしい。

## 相談が寄せられました

3年前に久万高原町に引っ越して来られ、要介護状態のご主人の介護を在宅でされている方から相談がありました。

昨年11月に、久万高原町在宅寝たきり老人介護手当支給の手続きをしてもらい1日あたり250円の支給を受けられるようになった。制度を知らなかったとはいえ主人の要介護度は3年前から変わっていないので、できれば遡って支給してもらえないか、とのことでした。もらえる条件のある人に支給されるようにと保健福祉課に頼みましたが、申請した日からの支給となるため、遡っての申請や支給はできないとの返事でした。今後は支給もれがないように、条件に当てはまる人全員に制度を周知するしくみを作ってほしいと保健福祉課に申し入れました。

一週間後、担当の職員さんから、今後は介護保険の被保険者証を交付するときに、申請できる制度を一覧にしたパンフレットを一緒に渡すようにしますと連絡がありました。遡っての支給の要望には応えられませんが、皆が当然の権利を享受する仕組みが出来たことは良かったと思います。

## 12月議会、3回目の一般質問

## 1. 18歳年度末までの医療費窓口負担の無償化について

・コロナ禍での収入減の子育て世帯もある。また、移住者を呼び込むためにも実施する考えはあるか。(町長) 財源の確保には他市町の動向を踏まえ総合的に検討する。

## 2. 農業後継者への支援について

・定年を迎えた後、戻ってきて親の農地で就農するケース、若い人でも親の農地で就農するケースがある。「農業経営継承発展支援事業」があると聞くが、周知状況はどうか。

(町長) 農業の担い手確保は農業公園の研修制度を中心におこなっている。この事業は条件的にも狭き門だが、今後も周知に努める。

・すぐには支援に結びつかない場合もあるが、準備金は必要だ。ハードルが高い制度では該当しない人

が多い、重要なのは農業の担い手が増えることだ。町としても農業の世代交代を歓迎する姿勢をみせてほしい。一定期間、農業継承奨励金のようなものを設けることはできないか。

(町長) 49歳以下の新規就農者には次世代人材育成事業がある。町独自の事業として小規模園芸施設支援金などがあるので利用してほしい。(農業継承奨励金のような制度は)少し時間を頂いて鋭意検討したい。

### 3. 積雪時の通学路確保について

・大雪の際、歩道が埋まり、車道を歩いて通学する児童がいる。事故につながることも考えられる。登校時までに歩道の除雪はできないか。

(町長) 通学時間前の歩道の除雪は難しい。保護者や地域の皆様の協力が必要だ。

### 4. ジェンダー平等の推進について

・ジェンダー平等への認識が広まっている。女性管理職の比率向上に向けた見通しを聞く。

(町長) 女性職員は47名(3割)。管理職は班長7名(21.9%)、課長はゼロ。計画では班長25%、課長23%だ。

・性的マイノリティの方のパートナーシップ宣誓制度の導入について検討を始めているか。

(町長) 本町はあらゆる差別に反対している。パートナーシップ宣誓制度について検討はおこなっていない。国や他自治体の動向を注視しながら検討する。

## 合同委員会での私の質疑

・町立病院の内科医師の専門が偏っているように思う。いろんな専門の医師がいるのが望ましいのではないか。

(病院事務長) 久万高原町が契約しているのは愛大の第3内科だけなので偏りができる。契約を変えるのは難しい。

・看護師不足と聞いている。看護師を定年退職した方の再雇用はできないか。

(病院事務長) すでに来てもらっている人もいます。雇用したい。

## 産業経済常任委員会での私の質疑

・川底に土砂が溜まり、草が生え川底が浅くなっている箇所がある。異常気象がいわれているが、川の氾濫などが心配だ。補修をしてほしい。

(建設課) 川底の土砂をさらうことができる。

・林道の横の水路の補修は住民負担が10%といわれた。大型車だけが通っているのに納得できない。

(建設課) 検討したい。

## 環境問題学習会を開きました

「産廃問題の専門家とともに、基礎から学び直しましょう」というテーマで12月19日に入野福祉館で学習会をおこないました。

講師の末田一秀氏は、定年退職されるまで大阪府庁で産廃に関する部署におられ、行政の立場からの話を聞くことができました。当日は21名の参加者があり、県内外の他地域での反対運動の紹介もありました。

学習会の中で、「地域の将来を決めるのは、その地域に住む私たち。産廃業者全てが悪ではない。住民としては絶えず行政を監視していくことが必要。また、運動の過程で分裂しないよう学習し、話し合い、団結して進めていくことが大切」だと学びました。



## 「トマト畑から」読者の声

「トマト畑から」拝読しました。新しいことに挑戦！心身共に健康ですね。大野さんの活動は両面素晴らしいです。議会報告も住民の声を聞くことも、今までの議員はなおざりだったと思います。私の経験ではながえさんが初めてです。本人の努力は勿論ですが強力に支えるスタッフの充実を感じます。大野さんも問題山積で、時間的にも体力的にも大変だろうと想像出来ます。しっかりサポートしてあげてください。(後略)

(古田隆さんに届いたメールより)

## 編集後記 ~これでいいのか~

9月議会の一般質問で盛り土の安全を問いました。答弁は「町の管理する6ヶ所の盛り土(残土処分場)を熱海市の土砂災害後、県の基準で調査したが、災害につながる箇所はなかった」とのことでした。後日、別の議員が菅生の盛り土の危険性にも触れて質問したところ、安全だとは言いませんでした。私への答弁とは大きく違っていました。また、菅生の残土処分場の現地説明会を開いてほしいと要望しましたが、現在、議会に上っているということで実現しませんでした。時間をおいてもう一度要望したいと思っています。